

令和3年度 第5回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年 9月9日(木)

午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

部会長より挨拶

2カ月ぶりの作業部会です。ACP マニュアル内容、Q&A の検討をありがとうございます。これまでに皆様が提出された案に基づいて事務局で編集した。これをたたき台にして最終的には印刷に持っていきたい。医療・介護・福祉の専門職がみるマニュアルで、実践できるような内容になっているかを議論して欲しい。14:40まで話し合い、グループ毎に発表とする。

議題

1. ACP マニュアル(案)について (グループ毎に検討内容を報告)

1G: 2章意思形成支援の価値観ピースの絵を各ページで視覚的に分かるようにして欲しい

4☑意思実現支援では安城市の姿をアピールできるようにして欲しい

例) 表紙に安城市の看取り体制 目指す姿の文章を掲載するなど

【多職種協働の重要性】 本人の望む場所で今を生きるの図の意味が分かりにくい
個人間で捉え方が違い、共通理解が得られないのではないかな

【意思実現】 ページの割り振りが疾患別の後に人生最後の意思実現を持ってくる
方が流れ的に納得できるのではないかな

【情報共有シート】 日付、誰が記録したかも書く欄が欲しい

【Q&A】 利用可能な地域の社会資源では繋ぐ先(窓口)を書いた方が良い
どこに相談すればこれらの人に相談できるのかが分からない

2G: 代理意思決定人とはの2行目、本人の代わりに医療やケアを決定する人とある
が、医療やケアを決定する人の文面に代えた方が良い

【多職種協働の重要性】 主治医の出来るだけ長生きするという一文に違和感がある。
例えば医学的な管理をする等文面の修正が必要
矢印内の「本人が望む場所で自分らしく最後～」となっているが最期に修正して欲しい

【人生最後の意思実現】を人生の最終段階におけるに変更。最後は最期にして欲しい。

Q & A の利用可能な社会資源では相談窓口と電話番号の記載が欲しい

7☑支援者の資質向上・情報共有の哲学対話・哲学カフェとあるが、哲学カフェの実施している場所等詳細を記載して欲しい

3 G : 総論 ACP4 つのステップの図。一方向だけでなく循環するイメージにならない
情報収集→どんなことを聞けばいいのなど表現の変更が必要

多職種協働の図が分かりにくい。いろいろな価値観の人が関わる等表現することが明確になるようにして欲しい

情報共有シート(案)とするのか、実際に使えるものにするのか見当が必要では？

社会資源：窓口はどうするか？ないので、地域の中でこんな職種がいるという事を伝えることに焦点を絞るのはどうか？繋げる方法も決まっていないので、係わる人たちがいるんだなと知ってもらうくらいの内容に留めるほうがよい文体の統一をして欲しい（である、ですます等）

4 G : 2 章 1☑意思形成支援のピースを集めるところで、私のノートの紹介と情報収集する内容と私のノートと ACP マニュアルに記載する内容の整合性を図る

【支援者の役割(例)】の本人、家族の図の横のコメントに「どんな最期を迎えたいか」等最期だけにフォーカスが当たっている。その他の職種はこれからの過ごし方や、今まで生活してきたことに関心があるような文面になっている。ACP を理解している人は分かるけど、そうでない人には伝わらない？

6☑状況に応じた対応の「本人と家族の思いが違う時」の中に、退院前カンファレンスやサービス担当者会議の活用を追加

【身寄りがいない時】元気なうちから頼りになる人の表現の妥当性はどうか？挿絵があると良い。文章表現を統一して欲しい。

質問) 情報共有シートは統一した書式があるのか？訪問看護、病院部会に情報シートを共通のものにならないか？ベースが必要ではないか？安城市で統一といっても西三河南部医療圏にも及ぶ問題。情報共有シートについては必要性があることはアンケート結果からも出てきている。メリット、デメリットはあるので難しい。情報のバージョンアップも必要。

2. 事務局より

個々での意見を参考に検討し、印刷業者との打ち合わせを開始する予定。初版ができたら、地域ケア推進会議、更生病院、八千代病院に意見を聞きながら完成とする。質問やご意見は9月20日までにサルビー見守りネットやメールにて事務局へご連絡ください。年内に印刷し来年早々に、専門職向けの研修会を開催したいと考えている。次回10月のACP作業部会では、マニュアル作成状況報告と今まで4Gが担当している私のノート、チラシについて検討する予定。

次回 第6回ACP作業部会 令和3年10月14日(木) 14時～15時 安城市医師会館